

I 土木工学科

1 教育研究上の目的

社会基盤や環境の保全と防災力の向上、資源の循環など、これからの社会システムの基本とすべき事柄を正しく認識した上で、ものづくりに関する基礎技能、自然環境との共生を図る意識及び高い倫理観を有し、社会基盤の整備に実践的に従事できる人間性豊かな技術者を養成する。

2 学修・教育目標

土木工学科では、上記の教育目的を達成するために、以下の学修・教育目標を設定しています。これらの学修・教育目標は、日本技術者教育認定機構（JABEE）の定める基準に対応しています。

【幅広い教養】

(A) 技術者としてグローバルな視点を持って人類の幸福に貢献できる人材となるために、幅広い教養を身につける。

【高い倫理観と安全性に関する知識】

(B) 土木技術者が地域社会の安全に果たす役割を理解し、職務上の社会的ルールと高い倫理観を身につける。

【自然科学と情報処理の基礎と応用力】

(C) 数学、物理、化学等の自然科学及び情報処理の基礎とそれらを応用する能力を身につける。

【専門的な基礎】

(D) 土木工学の主要分野である構造工学系、地盤工学系、水理学系、コンクリート工学系、土木計画学系、環境工学系の基礎を身につける。

【総合的な課題解決能力】

(E) 社会基盤や環境に関わる実務上の問題を正しく認識し、いままで学んだことを総合し問題を解決する能力を身につける。

【コミュニケーション力】

(F) 学修・研究成果をわかりやすく伝えるために、論理的な文章作成・口頭発表・討論能力を身につける。

【自主的・継続的に学修する能力】

(G) 専門基礎知識の修得を通して、自主的かつ継続的に学修する能力を身につける。

【専門的な基礎技術】

(H) 実験、実習を通して、チームとして計画・遂行・解析・考察する能力及び時間内に作業を進め、まとめる能力を身につける。

【資格取得のための基礎的な技術能力】

(I) 卒業後に必要な資格取得を可能にするために、多様な分野の要請に対応できる基礎的な技術能力を身につける。

3 コースの特徴

土木工学科では、社会基盤デザインコースと環境デザインコースの2つの履修コースが設定され、2年次に選択を行います。

(1) 社会基盤デザインコース

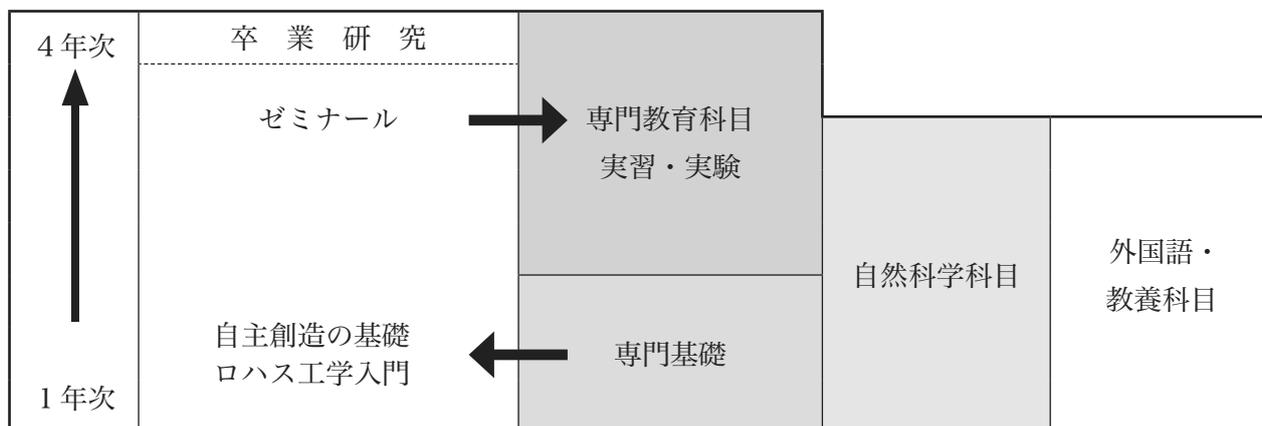
社会基盤の保全と防災力向上に関する基本認識と、知識や技術を有し、自然災害に強い持続可能な社会をつくる技術者の育成を目指したコースです。

(2) 環境デザインコース

環境の保全、資源循環などに関する基本認識と、知識や技術を有し、人間社会と自然環境との共生を図る技術者の育成を目指したコースです。

2つのコースとも、基本的な科目群は図に示す構成であり、次の特徴を有しています。

- (a) 1年次から4年次まで、教員とのふれ合いにより、専門科目を含む基礎力や社会基盤整備と自然環境との共生に関する意識などを学ぶ。
- (b) 1年次は工学の基礎力の強化を中心とし、ITなどを含む専門教育科目は主として2年次以降に学ぶ。



土木工学科 社会基盤デザインコース

卒業要件

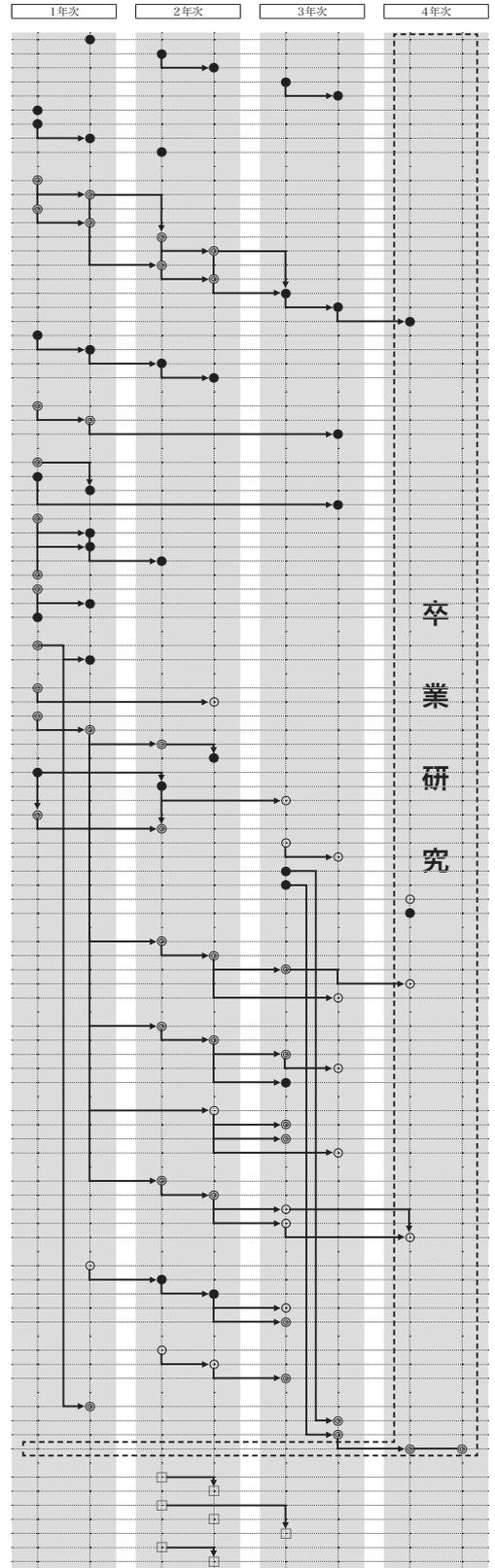
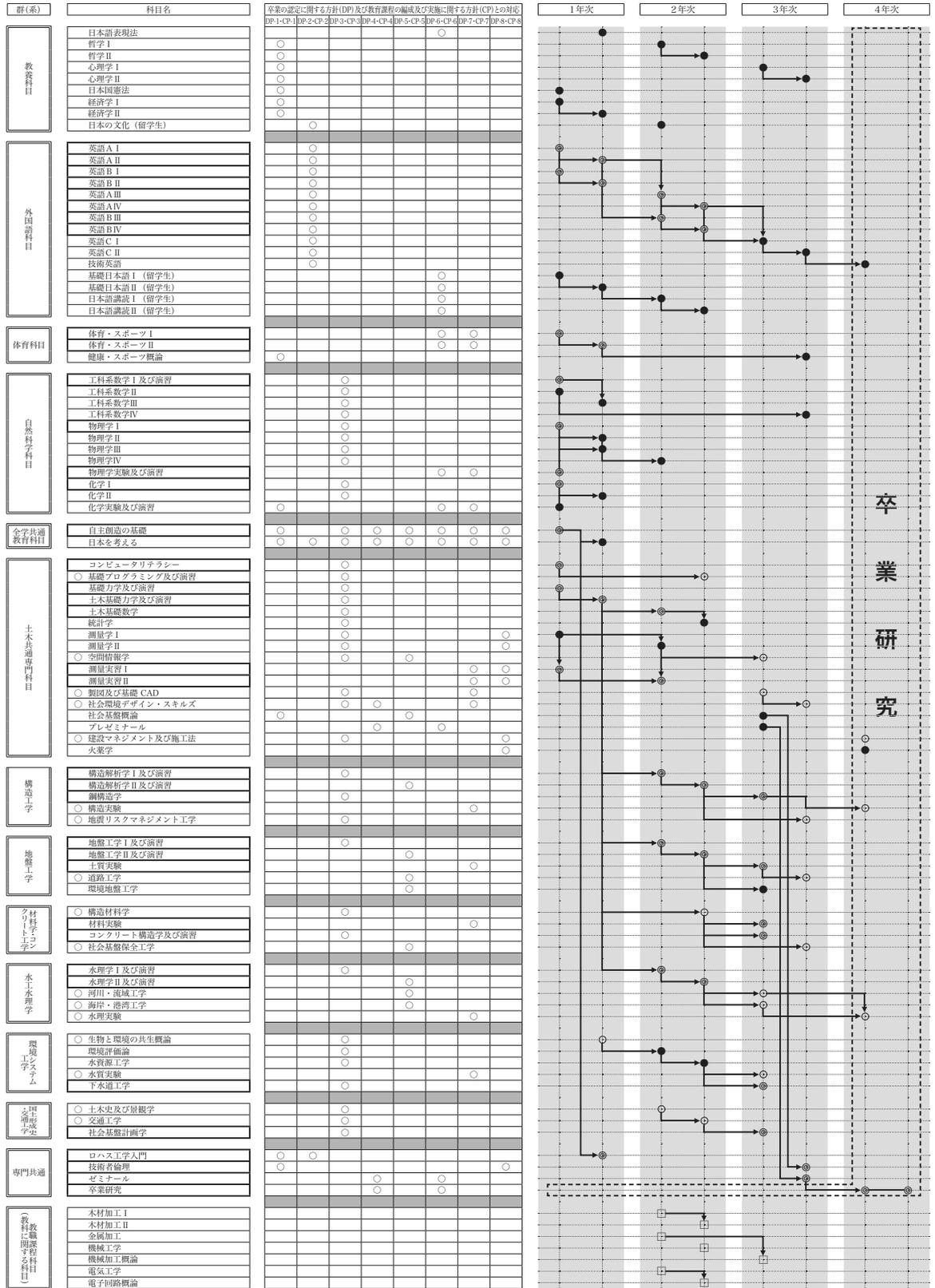
卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【全学共通教育科目】** 必修科目（1科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【教養科目】** 4科目**8単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は外国人留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】** 必修科目（8科目8単位）を含めて、**8単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は外国人留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】** 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】** 必修科目（4科目9単位）を含めて、**15単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】**
- (1) 専門共通科目（4科目）**12単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（18科目）**42単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目のうちから**22単位以上**を修得しなければならない。ただし、
 - ・ 選択必修科目①（コース選択必修科目）のうちから**12単位以上**を修得しなければならない。
 - ・ 選択必修科目②のうちから3科目**6単位以上**を修得しなければならない。
 - ・ 選択必修科目③のうちから2科目**4単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】** 全学共通教育科目、教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**11単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
全学共通教育 科目	必修	自主創造の基礎 (2)			
	選択	日本を考える (2)			
教養科目	選 択	日本語表現法 (2)	哲学 I (2)	心理学 I (2)	
		日本国憲法 (2)	哲学 II (2)	心理学 II (2)	
		経済学 I (2)	日本の文化 (2)		
		経済学 II (2)			
外国語科目	必 修	英語 A I (1)	英語 A III (1)		
		英語 A II (1)	英語 A IV (1)		
		英語 B I (1)	英語 B III (1)		
		英語 B II (1)	英語 B IV (1)		
	選 択	基礎日本語 I (1)	日本語講読 I (1)	英語 C I (1)	技術英語 (1)
		基礎日本語 II (1)	日本語講読 II (1)	英語 C II (1)	
体育科目	必修	体育・スポーツ I (1)			
	体育・スポーツ II (1)				
	選 択			健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必 修	工科系数学 I 及び演習 (3)			
		物理学 I (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学 I (2)			
	選 択	工科系数学 II (2)	物理学 IV (2)	工科系数学 IV (2)	
		工科系数学 III (2)			
		物理学 II (2)			
		物理学 III (2)			
	化学 II (2)				
	化学実験及び演習 (2)				
専門教育科目	専門共通科目	ロハス工学入門 (2)		ゼミナール (2)	卒業研究 (6)
				技術者倫理 (2)	
	必 修	コンピュータリテラシー (1)	構造解析学 I 及び演習 (3)	材料実験 (2)	
		土木基礎力学及び演習 (3)	構造解析学 II 及び演習 (3)	土質実験 (2)	
		測量実習 I (1)	地盤工学 I 及び演習 (3)	鋼構造学 (2)	
		基礎力学及び演習 (3)	地盤工学 II 及び演習 (3)	コンクリート構造学及び演習 (3)	
			水理学 I 及び演習 (3)	社会基盤計画学 (2)	
			水理学 II 及び演習 (3)	下水道工学 (2)	
	選 択 必 修 ①		測量実習 II (1)		
			土木基礎数学 (2)		
		生物と環境の共生概論 (2)	構造材料学 (2)	道路工学 (2)	
			交通工学 (2)	河川・流域工学 (2)	
			基礎プログラミング及び演習 (3)	社会基盤保全工学 (2)	
	選 択 必 修 ②		土木史及び景観学 (2)	海岸・港湾工学 (2)	
				地震リスクマネジメント工学 (2)	
	選 択 必 修 ③			製図及び基礎 CAD (2)	建設マネジメント及び施工法 (2)
				社会環境デザイン・スキルズ (2)	
				空間情報学 (2)	
	選 択			水質実験 (2)	構造実験 (2)
				水理実験 (2)	
測量学 I (2)		測量学 II (2)	環境地盤工学 (2)	火薬学 (2)	
		水資源工学 (2)	プレゼミナール (1)		
	環境評価論 (2)	社会基盤概論 (2)			
	統計学 (2)				

教育研究上の目的

社会基盤や環境の保全と防災力の向上、資源の循環など、これからの社会システムの基本とすべき事柄を正しく認識した上で、ものづくりに関する基礎技能、自然環境との共生を図る意識及び高い倫理観を有し、社会基盤の整備に実践的に従事できる人間性豊かな技術者を養成する。



※教職課程については、許可を受けた者が履修できる。

- 必修科目
- ◎ 選択必修科目
- 選択科目

- DP-1-CP-1: 豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。
- DP-2-CP-2: 自然現象を理論上・図解的に分析している問題を説明することができる。
- DP-3-CP-3: 得られた情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。
- DP-4-CP-4: 事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。
- DP-5-CP-5: さまざまな立場を思いやることに関心をもち、行動することができる。
- DP-6-CP-6: 相手の意見を聞いて理解し、自分の考えを伝えることができる。
- DP-7-CP-7: 疑問のなかで推測しながら、論議の力を引出し、その活動を支援することができる。
- DP-8-CP-8: 課題に自らを見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。

- 必修科目
- ◎ 選択必修科目
- 選択科目

土木工学科 環境デザインコース

卒業要件

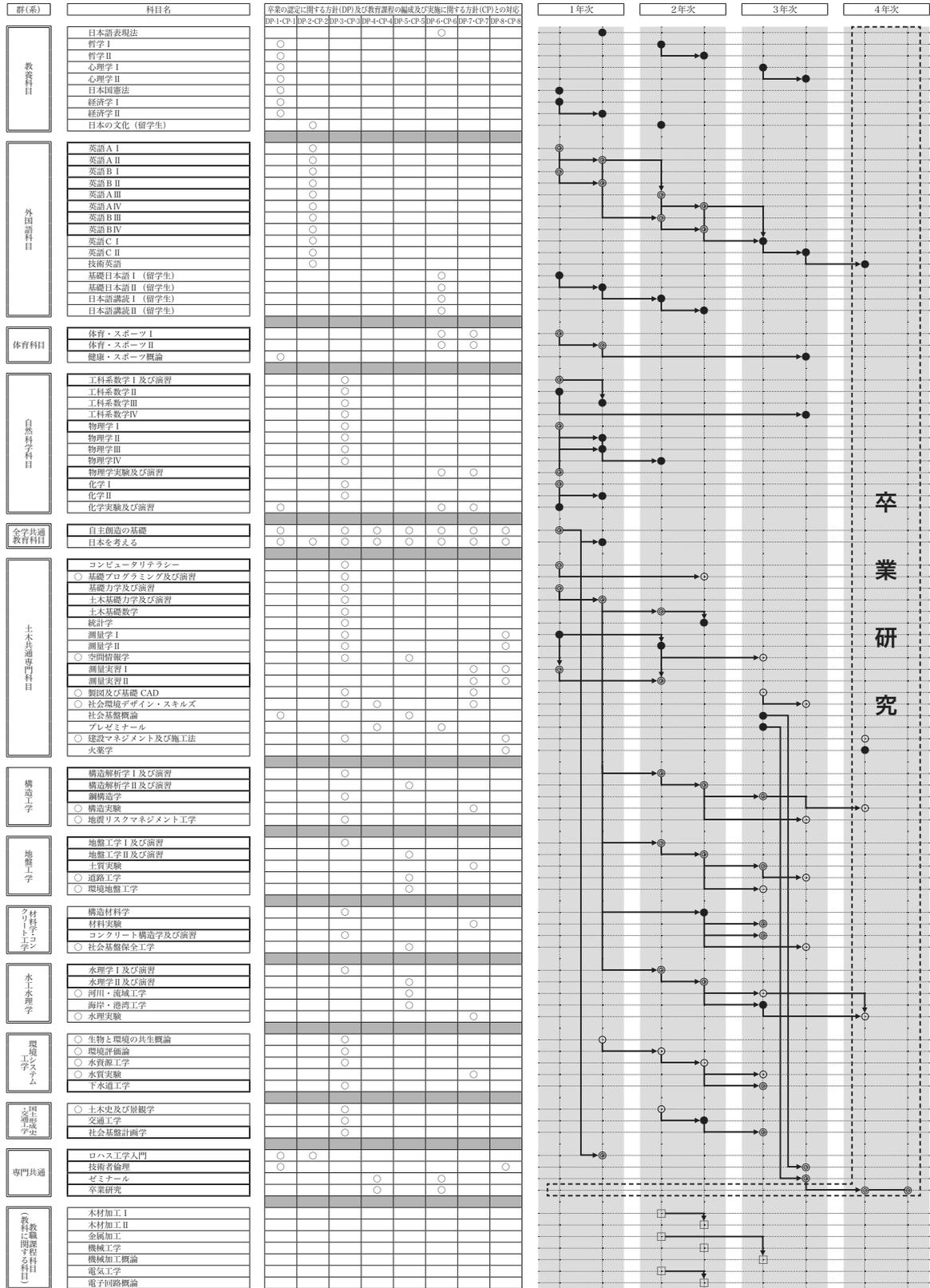
卒業するには、次の条件を含めて、**126単位以上**を修得しなければならない。

- 【全学共通教育科目】** 必修科目（1科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【教養科目】** 4科目**8単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「日本の文化」は外国人留学生のみ履修できる。
- 【外国語科目】** 必修科目（8科目8単位）を含めて、**8単位以上**を修得しなければならない。
ただし、「基礎日本語Ⅰ」、「基礎日本語Ⅱ」、「日本語講読Ⅰ」及び「日本語講読Ⅱ」は外国人留学生のみ履修できる。
- 【体育科目】** 必修科目（2科目2単位）を含めて、**2単位以上**を修得しなければならない。
- 【自然科学科目】** 必修科目（4科目9単位）を含めて、**15単位以上**を修得しなければならない。
- 【専門教育科目】**
- (1) 専門共通科目（4科目）**12単位**を修得しなければならない。
 - (2) 必修科目（18科目）**42単位**を修得しなければならない。
 - (3) 選択必修科目のうちから**22単位以上**を修得しなければならない。ただし、
 - ・選択必修科目①（コース選択必修科目）のうちから**12単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目②のうちから3科目**6単位以上**を修得しなければならない。
 - ・選択必修科目③のうちから2科目**4単位以上**を修得しなければならない。
 - (4) 上記の専門共通科目、必修科目及び選択必修科目を含めて合計**80単位以上**を修得しなければならない。
- 【総合選択単位】** 全学共通教育科目、教養科目、外国語科目、体育科目、自然科学科目、専門教育科目（他学科の専門教育科目を含む）、教職課程科目（教科に関する科目）、相互履修科目及び単位互換科目を含めて**11単位以上**を修得しなければならない。

		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
全学共通教育科目	必修	自主創造の基礎 (2)			
	選択	日本を考える (2)			
教養科目	選 択	日本語表現法 (2)	哲学 I (2)	心理学 I (2)	
		日本国憲法 (2)	哲学 II (2)	心理学 II (2)	
		経済学 I (2)	日本の文化 (2)		
		経済学 II (2)			
外国語科目	必 修	英語 A I (1)	英語 A III (1)		
		英語 A II (1)	英語 A IV (1)		
		英語 B I (1)	英語 B III (1)		
		英語 B II (1)	英語 B IV (1)		
	選 択	基礎日本語 I (1)	日本語講読 I (1)	英語 C I (1)	技術英語 (1)
		基礎日本語 II (1)	日本語講読 II (1)	英語 C II (1)	
体育科目	必 修	体育・スポーツ I (1)			
	体育・スポーツ II (1)				
選 択				健康・スポーツ概論 (2)	
自然科学科目	必 修	工科系数学 I 及び演習 (3)			
		物理学 I (2)			
		物理学実験及び演習 (2)			
		化学 I (2)			
	選 択	工科系数学 II (2)	物理学 IV (2)	工科系数学 IV (2)	
		工科系数学 III (2)			
		物理学 II (2)			
		物理学 III (2)			
		化学 II (2)			
		化学実験及び演習 (2)			
専門教育科目	専門共通科目	ロハス工学入門 (2)		ゼミナール (2)	卒業研究 (6)
				技術者倫理 (2)	
	必 修	コンピュータリテラシー (1)	構造解析学 I 及び演習 (3)	材料実験 (2)	
		土木基礎力学及び演習 (3)	構造解析学 II 及び演習 (3)	土質実験 (2)	
		測量実習 I (1)	地盤工学 I 及び演習 (3)	鋼構造学 (2)	
		基礎力学及び演習 (3)	地盤工学 II 及び演習 (3)	コンクリート構造学及び演習 (3)	
			水理学 I 及び演習 (3)	社会基盤計画学 (2)	
			水理学 II 及び演習 (3)	下水道工学 (2)	
			測量実習 II (1)		
	選 択 必 修 ①	生物と環境の共生概論 (2)	環境評価論 (2)	道路工学 (2)	
			基礎プログラミング及び演習 (3)	河川・流域工学 (2)	
			土木史及び景観学 (2)	環境地盤工学 (2)	
			水資源工学 (2)	社会基盤保全工学 (2)	
				地震リスクマネジメント工学 (2)	
	選 択 必 修 ②			製図及び基礎 C A D (2)	建設マネジメント及び施工法 (2)
				社会環境デザイン・スキルズ (2)	
				空間情報学 (2)	
	選 択 必 修 ③			水質実験 (2)	構造実験 (2)
					水理実験 (2)
	選 択	測量学 I (2)	測量学 II (2)	海岸・港湾工学 (2)	火薬学 (2)
		構造材料学 (2)	プレゼミナール (1)		
		交通工学 (2)	社会基盤概論 (2)		
		統計学 (2)			

教育研究上の目的

社会基盤や環境の保全と防災力の向上、資源の循環など、これからの社会システムの基本とすべき事柄を正しく認識した上で、ものづくりに関する基礎技能、自然環境との共生を図る意識及び高い倫理観を有し、社会基盤の整備に実践的に従事できる人間性豊かな技術者を養成する。



卒業研究

- 必修科目
- ◎ 選択必修科目
- 選択科目

※教職課程については、許可を受けた者がだけが履修できる。

DP-1-CP-1: 豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。
 DP-2-CP-2: 自然現象を物理・化学・生物の観点から理解し、説明することができる。
 DP-3-CP-3: 得られた情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。
 DP-4-CP-4: 事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。
 DP-5-CP-5: さまざまな立場や関心に基づいて、多角的に問題を捉えることができる。
 DP-6-CP-6: 他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。
 DP-7-CP-7: 問題のなかで優先しながら、協働の力を発揮し、その活動を支援することができる。
 DP-8-CP-8: 課題に自らを見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。